

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	卒業研究 I	小林 俊哉	2 年次	春

授業のキーワード	マスメディア、メディアリテラシー、新聞、問題解決
授業の概要	新聞の実情、可能性、問題点や課題など、マスコミ全体についての目配りもしながら、研究論文を完成させます。
期待される学習成果（目標）	1. 新聞を始めとする多くのマスメディアの、賢い活用方法が分かる。 2. マスメディアに登場するさまざまなニュースの背景やそこに内在する問題を理解できる。 3. 論理的、合理的な思考法が可能となる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	基本的なゼミの運営方法を確認します。	第 9 講	問題解決のしくみ	「問題解決」とは何か。その基本について学びます
第 2 講	ゼミとは何か	そもそも大学におけるゼミとは何か。なにを目的とするのか。どのようなことを学べるのかなどについて概観します。	第 10 講	問題解決のしくみ(その 2)	「問題解決」をするための、「問題」の設定方法について学びます。また期末課題について説明をします。
第 3 講	ゼミとは何か(その 2) メディアとは何か	前頁に引き続きゼミの基本を学びます。また自分のメディアの関心事についても語り合います。	第 11 講	問題解決のしくみ(その 3)	「問題解決」の問題設定について引き続き学びます。
第 4 講	メディアとは何か(その 2)	あまりにも私たちの生活に密着しているメディア。その基本的な性格について学びます。	第 12 講	ゼミ論執筆へ向けて	ゼミ論文を書くに当たっての心構え、テーマの選び方、注意点などを指摘します。
第 5 講	メディア・リテラシーとは何か	メディア・リテラシーとはそもそも何か、その基本について学びます。	第 13 講	新聞とのつきあい	テレビとならび一番身近なメディアは新聞。その歴史、功罪、役割、これからの可能性を探ります。
第 6 講	メディア・リテラシーとは何か(その 2)	引き続きメディア・リテラシーの特徴について学びます。	第 14 講	新聞とのつきあい(その 2)	毎朝を配される新聞は、テレビと同様、物心が付く頃にはもう家庭の一部でしょう。その役割をさらに詳しく学びます。
第 7 講	私たちとメディア	私たちはメディアとどのようなつきあいをしてきたでしょう。「自分のメディアとのつきあい史」を振り返ります。	第 15 講	ゼミ論文仮テーマ発表	ゼミ論文の仮テーマを発表し、ゼミメンバーの質疑応答をします。
第 8 講	私たちとメディア(その 2)	引き続き「メディアとのつきあい史」を考えます。現在の自分の形成にメディアはどのような影響を及ぼしたのかについて口頭発表を行います。中間課題提出	定期試験		期末課題の提出を期末試験に代えます。
評価方法		中間課題 30% 期末課題 50% 口頭発表など 20%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
授業中に指示します					